

令和5年4月23日執行

敦賀市長選挙公報

敦賀市選挙管理委員会

政策実現の財源の一部にするため
市長の退職金約2,000万円をゼロにします。

1 高齢者の安心と健康をまもる

- ・家の近くまでバスがくるような仕組みづくり
- ・免許返納者へのバス永年無料化
- ・タクシー無料券・リラポート温泉プール無料券など
外出支援の拡充

2 子育ての負担をすべて無料にする

- ・保育園・小学校・中学校の学校給食費の無料化
- ・18歳までの医療費完全無料化
- ・大学進学の際の奨学金の拡充と返還免除拡大

3 圧倒的な雇用を生み出す

- ・新しい産業団地の整備に取り組む
- ・ふるさと納税から圧倒的な雇用につなげる
- ・政府機関の誘致に取り組む



45歳での市長は、県内では一番若い市長となります。雨の日も風の日も雪の日も街頭演説を続けてきました。情熱と姿勢は変わりません。



前川
かずはる
(45歳)



敦賀をあたらしいステージへ

敦賀のために。市民の生活のために。

1 地域経済を、あたらしいステージへ

- 敦賀港、高速道路、北陸新幹線。敦賀の潜在能力を発揮します。
- 経済効果を重視した「稼ぐ観光」政策を推進します。
- サテライトオフィスの誘致などITビジネスを支援します。
- 「つるが道の駅」をつくり、敦賀の一次製品の販売を促進します。

2 子育て支援を、あたらしいステージへ

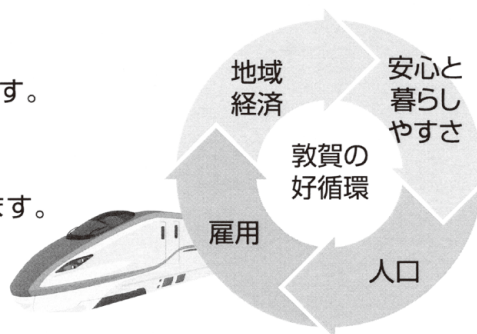
- 保育料や給食費など、子育ての経済的負担をより軽く。
- 「デジタル教育」、「ふるさと教育」、「キャリアデザイン」、「英語教育」、「スポーツ教育」で、ユニークな人材を育てます。

3 高齢者の安心を、あたらしいステージへ

- デマンド型コミュニティタクシーを導入し、交通弱者の買い物や医療に安心を。
- 認知症が心配な高齢者と家族に安心を。行政のサポートをわかりやすく伝えます。

4 身近な生活を、あたらしいステージへ

- 市行政と地域をしっかりとつなぐ「地域サポート職員」制度を導入します。
- 防災、減災のための対策を強化し、命と暮らしを守ります。
- 障がい者の生活と自立を支援し、施設整備や環境づくりを進めます。



米澤光治 (昭和42年7月18日生 55才)

黒河小学校、栗野中学校、武生高等学校卒業
筑波大学卒業、筑波大学院修了(理工学修士)
平成5年 化学メーカーに就職、
大阪にて勤務
平成10年~12年 米国大学客員研究員
平成19年 敦賀にUターン、
市内企業に就職
平成27年 敦賀市議会議員選挙当選
平成31年 敦賀市長選挙に立候補
多くのご支援をいただきましたが、目標達成は叶いませんでした。現在も敦賀市の発展のために政治活動を継続中です。



よねざわ
光治
こうじ
55歳

投票日は4月23日(日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を原文そのまま写真印刷したものです。